



長い臨時休業が続いていましたが、分散登校という形で学校が再開されました。校舎内に活気が戻ってきて大変うれしく思います。

再開初日の学年集会では、保健室からみなさんに、今後の学校生活で注意してほしいことを話しました。しばらくは、これまでと異なる形での授業や活動が続きます。しっかりと予防対策をしながら学校生活を元気に過ごしてほしいです。

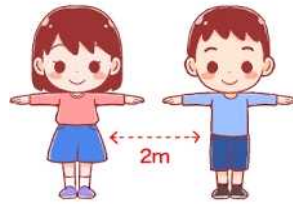
予防対策の3つの柱

1 3密（密閉・密集・密接）を避ける

- ①密閉を避ける = 換気をする
- ②密集・密接を避ける = 離れる



離れる距離の目安は



手を伸ばしても
互いの手が届かない距離

2 マスクを着用する



会話を5分間したときの飛まつ（細かいしぶき）の量は、せき1回分に相当します。学校にいる間は全員マスクをしましょう。

なお、マスクの素材や色は自由です。白の使い捨てマスク以外の手作りの布マスクでもいいので、家にあるものを着用してきてください。

予備のマスクもカバンに入れておこう！

◆ 使い捨てマスクの裏表の見分け方 ◆

【ひだが一方向のタイプ】



ひだが下向きになるようにする

【ひだが真ん中から上下に分かれているタイプ】

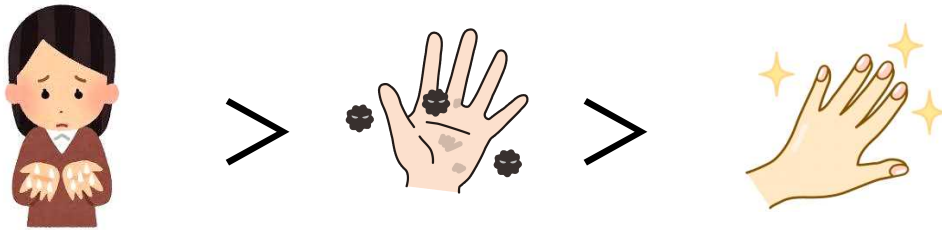


真ん中が出っばっている方を外側にする

3 手洗いをする

手洗い後は、ハンカチでしっかりと水分をふこう！

ぬれたままの手は、洗わない手よりも多くの菌を移動させてしまう！



手洗いをして、ぬれたままの手は、洗っていない手よりも多くの菌を移動させてしまいます。手を洗ったのに、洗わない手よりも感染源になりやすいという残念なことになるので、ハンカチを忘れずに持ってきてみましょう。

手洗いを繰り返すと、ハンカチもぬれたり汚れたりするので、替えのハンカチも準備しておきましょう。

**ハンカチやタオルの貸し借りは、やめましょう！
爪も短く切っておこう！**

感染流行時に注意すべき大切なこと

ネットの記事に、こんなことが書かれていました。

- ◆医療従事者やその家族が「バイキン」と言われ、不当に避けられた。
- ◆宅配業者の人が「バイキン扱い」されて、除菌スプレーをかけられた。

みなさんは、このことをどう思いますか？

学年集会で、生徒のみなさんに話をする前に、学校医の民野先生にアドバイスをいただきました。民野先生が「これだけは、ぜひ伝えてほしい」とおっしゃったことは「**自分がウイルスをもっていて、人にうつすかもしれないという意識をもって行動する**」ということでした。

感染予防というと、「自分に感染しないように」と考える人がほとんどではないでしょうか。そういう私も民野先生の言葉を聞くまでは、そう思っていました。自分に感染しないようにすることは、もちろん大切です。でも、これは「自分はウイルスを持っていない」ということが前提になっています。

コロナウイルス感染症が流行している現在は、誰が感染していてもおかしくない状況にあります。しかも、問題なのは「**感染していても症状が出ないために感染していることに気付かず人にうつしてしまう**」ということです。「**自分が人にうつすかもしれない**」という意識があれば、ネットの記事のようなことは起きないのではないかと思います。そして、人にうつすかもしれないという意識があれば、人と会うときにマスクを着用したり相手と距離をとったりすることはもちろん、体調が悪いときに無理して外出したり登校したりすることは控えると思います。

感染症の流行期には、一人一人が「人にうつすかもしれない」という意識をもち、人を責めるのではなく、周りの人を思いやりながら、適切な予防行動をとることが大切です。



